

令和 2 年 6 月 30 日現在

機関番号：64401

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H01780

研究課題名(和文) ネットワーク型博物館学の創成

研究課題名(英文) Museology for MuseumNetworking

研究代表者

須藤 健一 (Sudo, Kenichi)

国立民族学博物館・その他部局等・名誉教授

研究者番号：10110082

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 30,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、世界の民族学博物館が所蔵する資料を、その資料のもともとの製作者や所有者(ソース・コミュニティ)の人びとと共有化し、人類の共有財産として活用するための手法とシステムを開発することによって、ネットワーク型の新たな博物館学を創生するものである。大量の民族誌資料を所蔵する欧米の民族学博物館を本研究の拠点博物館として、それぞれのソース・コミュニティとの連携状況を把握した上で、ネットワーク化の推進のための共同研究、国際ワークショップやシンポジウムを実施した。さらには、共同展示の企画と開催、民族誌資料関連情報の共有化に向けたデータベースのシステム開発を実施した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本科研において拠点博物館やコミュニティ博物館として選定した機関からは、世界的な規模でのネットワーク化によって、個々の博物館が所蔵する資料に関して共同研究の体制ができることに多くの賛同を得た。その達成に向けて、さらなる研究や協力体制の推進が確認された。博物館間のネットワーク化には、研究者に加え、それぞれの博物館でコレクション管理や情報システムを担当するスタッフ間による緊密なコミュニケーションと協働が重要であることが明らかとなった。また、博物館とソース・コミュニティとの関係の在り方と課題の多様性について、多くの知見を得た。公開の講演会やシンポジウムによって、これらを発信できたことの意義は大きい。

研究成果の概要(英文)：This research project aimed to create a new type of networked museology by developing methods and systems for sharing the information of the materials held by ethnological museums around the world with their original creators and owners (source communities) and utilizing them as the common property of humanity. The ethnographic museums in Europe and the United States, which hold a large amount of ethnographic materials, were positioned as the base museums for this project, and joint research, international workshops and symposia were conducted to promote networking after grasping the present situations of cooperation with each source communities. In addition, we planned and organized joint exhibitions and developed a database system for sharing information related to ethnographic materials.

研究分野：社会人類学

キーワード：博物館学 ネットワーク コミュニティ

1. 研究開始当初の背景

住民参加を基調にしたコミュニティに根差した博物館活動の実践、教育現場との連携、収集・展示される側との共同作業を前提とした収集・展示作業の推進、さらには所蔵する資料の情報を多くの人と共同で充実させ、活用していこうとするデータベースの構築など、近年活発化してきている博物館のこうした活動のいずれもが、一方的な情報発信装置から双方向・多方向の交流と情報の流れを生み出すものとして活用されてきている。しかしながら、従来のこうした活動は、一部の博物館の個別の活動のレベルにとどまっておき、それらを全体として俯瞰する博物館学的理論も、またこれらの活動を相互に繋ぐシステムもいまだ整備されるには至っていない。このため、個々の博物館の意義ある活動が、地域や国を越えて大きなうねりを生み出していくことも、また、それぞれの博物館に所蔵されている資料が、広く人類の共有財産として機関を越えて相互に活用されていくこともみられない。博物館が所蔵する資料とその関連情報を、人類の共有財産として共同で管理し、利活用を考える必要がある。

2. 研究の目的

国立民族学博物館(民博)を一つの拠点として、世界の諸民族に関する民族誌資料を大量に所蔵し、かつ所蔵資料のもともとの製作者や所有者(ソース・コミュニティ)との連携に積極的な姿勢をもつ世界の主要博物館(以下、拠点博物館)との間で、資料情報の共有のためのネットワークを構築する。それとともに、これら拠点博物館が所蔵する資料について、ソース・コミュニティと拠点博物館のあいだで共同研究を実施し、資料の共同管理と利活用に向けた規範・手法とシステムを考究・開発する。さらには、そのようにして開発された手法・システムを実際に運用し、問題点を検証しつつ理論化を進めることで、ネットワーク型の新たな博物館学を創成する。

3. 研究の方法

(1) 民博が、以下の海外の拠点博物館と共同研究を実施し、各博物館の所蔵品管理の状況を精査した上で、資料とその情報の共有化のシステム作りに向けた検討作業をおこなった。

- ・大英博物館(連合王国)
- ・ブリティッシュ・コロンビア大学人類学博物館(カナダ)
- ・スミソニアン協会国立自然史博物館(米国)

さらには、オックスフォード大学ピットリヴァーズ博物館(連合王国)、イーストアングリア大学セインスベリー芸術センター(連合王国)、オーストラリア博物館(オーストラリア)においても、情報共有システムについて協議した。

(2) コミュニティ博物館において、資料所蔵・保管状況、拠点博物館との関係についての調査を実施し、所蔵資料の情報の充実のために必要な作業を特定するとともに、コミュニティの人びとの参加状況を把握したうえで、新たなプログラムの策定要件の抽出をおこなった。対象とした主な博物館は以下のとおりである。

- ・オーストラリア国立博物館(オーストラリア)
- ・ニュージーランド国立博物館テ・パバ・トンガレワ(ニュージーランド)
- ・順益台湾原住民博物館(台湾)
- ・アイヌ民族博物館(日本)
- ・リヴィングストン博物館(ザンビア)

さらには、ノヴァスコシア博物館(カナダ)、アンカレッジ博物館(米国)、グアム博物館(米国)、パプアニューギニア国立博物館、サモア国立博物館、パラオ国立博物館、生きた生活博物館(ミクロネシア連邦)、ウィットウォーターズランド大学美術館(南アフリカ)、マンヒーマ王宮博物館(ガーナ)などとも、所蔵資料に関する情報の拡充や活動の活性化のためのネットワーク化に関する協議やワークショップを実施した。

(3) 博物館所蔵資料の連携検索のためのデータベース・システムを試作し、それを博物館で共有しながらデータ付加をおこなえるシステムを構築するための稼働実験をおこなった。

4. 研究成果

(1) 拠点博物館における共同研究とネットワーク形成

大英博物館とは、民博所蔵の民族誌資料の関連資料の調査を収蔵庫と図書室にて共同で実施した。過去においては大英博物館資料による展覧会を民博は主催したこともあり、今回のプロジェクトを通じて、博物館間の関係は強化された。カナダのブリティッシュ・コロンビア大学人類学博物館とデータベース共有のための共同研究を開始し、平成29年度には館長アンソニー・シェルトンを招聘し、世界の博物館の中での民博の位置づけについて研究交流をし、今後の両館の研究連携を図った。2018年度に、日本学術振興会ワシントンオフィス主催の第23回 Science in Japan Forum に本科研の研究分担者4名が、スミソニアン協会国立自然史博物館からは研究協力者であるメアリー・ジョー・アーノルディ人類学部長が招待されて講演をおこない、今後の研究連携についても協議した。

機関博物館による所蔵資料に関するソース・コミュニティのメンバーや研究者を招聘しての国際的なプロジェクトとしては、ピットリヴァーズ博物館の Ethnographic Museums and the shapes of radical hope and reconciliation や民博のフォーラム型情報ミュージアムなどがあがるが、従事する人員や予算の確保による継続性が課題である。

(2) コミュニティ博物館およびソース・コミュニティとの共同研究とネットワーク形成

民博が過去 26 年間にわたり、国際協力機構（JICA）からの委託を受けて実施してきた博物館学研修には、61 の国・地域から 269 名が参加してきた。本科研により、そうした博物館のいくつかを訪れ、研修の成果がいかにかに生かされているかなどを調査するとともに、今後の連携の在り方について協議した。

2019 年 9 月の国際博物館会議（ICOM）京都大会にて、民博と ICOM-JAPAN の共催によるセッション「博物館とコミュニティ開発」を開催し、本科研によってさらに強化された博物館ネットワークを生かし、ミャンマー・アルメニア・エクアドル・ザンビアからかつての研修員を報告者として招き、それぞれの博物館の活動や課題について発表してもらい、ネットワークを生かした情報の共有と課題解決に向けての協働に取り組むことが確認された。このセッションの成果は、*Museums and Community Development* (The organizing committee of the ICOM Kyoto session “Museums and Community Development” National Museum of Ethnology, Osaka 2020) として刊行された。

国立台湾歴史博物館と共同研究を実施し、国際連携展示「南方共筆-継承される台湾風土描写」(2018 年 10 月～2019 年 4 月) を企画・開催した。

オーストラリアの先住民コミュニティとの関係を樹立し、民博所蔵の関係資料に関する情報拡充を図るため、オーストラリアアボリジニ・トレス海峡諸島民研究所との協議を開始した。

2002 年に独立した東ティモールにおいて、国民アイデンティティを形成する上で重要視されている国立博物館の設立に向けて、国民自身が自国の未来を考えるための契機として、映像作品の制作を本科研においてサポートした。作品は『感謝すること』(14 分 40 秒)。

(3) 情報共有システムの開発

先進国の中には、国内の博物館だけでなく美術館や図書館、文書館なども含めた文化施設の収蔵資料とその関係情報を、ウェブ上で閲覧できるシステムを開発しているケースもある。主に 2 つのタイプがあり、一つはそれぞれの施設の既存のデータベース等に導くポータルサイトとしてあるもので、他の一つは新たなデータベースに収蔵資料のデジタル情報を掲載したものである。後者の例として、複数の機関が管理・運用する多種多様なデータベースの統合検索システムとしては、人間文化研究機構が開発した統合検索システム (nihulNT) がある。民族学博物館の所蔵資料に関しては、より簡便で低コスト、なおかつソース・コミュニティにとっても使いやすいシステムの開発が求められるが、その開発のための、各博物館からの情報・マンパワーの提供にはそれぞれの館の独自の事情もあって容易ではない。民族誌資料に関する情報共有システムの開発の必要性の認識は共有されているので、さらなる研究・協議の継続・推進が求められる。

データベース利用者が掲載情報の修正や新たな情報の提供を同じデータベースサイトで可能なものは少ない。とりわけ多くの貴重な情報を持つソース・コミュニティにとっては、インターネット上のデータベースは、博物館が所蔵する資料に関する情報の調査や修正・追加に効率的なように思われるが、一方では、多くのソース・コミュニティにとっては、ネット環境の整備が十分にはおこなわれていないという問題が存在している。ソース・コミュニティのメンバーが、自分たちに関わる資料を所蔵する博物館を直接訪れて、スタッフとの協働作業によって、熟覧の上、情報の修正や追加することは近隣の場合は可能であるが、国際的なプロジェクトとなると、ピトリヴァーズ博物館による Ethnographic Museums and the shapes of radical hope and reconciliation プロジェクトや、民博のフォーラム型情報ミュージアムなど少数である。しかし、インフラ整備が進んだとしても、情報のやり取りだけでなく、研究者やソース・コミュニティメンバーの直接的交流や、資料の貸し出しによる展示の共同開催などは、インターネット時代だからこそ一層その重要性を増し、評価が高まっていくだろう。ただ人の移動や接触は、感染症の終息がなければ、かなり制限されたものとなることは明らかであり、インターネット上でやり取りされる情報量の増加と同時に、それら情報の質的向上とアクセスの平等性を支える技術イノベーションが期待される。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計102件（うち査読付論文 26件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 佐々木史郎	4. 巻 171
2. 論文標題 アヌココロ アイヌ イコロマケナル：新国立博物館設立への道	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 3-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 510
2. 論文標題 カナダ先住民のトーテムポール制作とその地域産業化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 149
2. 論文標題 北アメリカ先住民の捕鯨の現状と仮題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国立民族学博物館調査報告 世界の捕鯨文化－現状・歴史・地域性	6. 最初と最後の頁 85-104
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 149
2. 論文標題 世界の捕鯨と捕鯨に関する最近の研究動向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国立民族学博物館調査報告 世界の捕鯨文化－現状・歴史・地域性	6. 最初と最後の頁 5-30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 34
2. 論文標題 北米アラスカ・北西海岸地域研究から見た環太平洋沿岸諸先住民族文化の比較研究の展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 第34回北方民族文化シンポジウム網走報告書 環太平洋地域の伝統と文化 4 アラスカ・ユーコン地域	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 899
2. 論文標題 カナダ・イヌイット社会の歴史と現状、問題点	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史地理教育	6. 最初と最後の頁 10-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 信田敏宏	4. 巻 171
2. 論文標題 森をとりもどせーマレーシア、オラン、アスリの闘い	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 24-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 信田敏宏	4. 巻 171
2. 論文標題 だれが先住民なのか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 12-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 55
2. 論文標題 ICOM京都大会振り返るー成果と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 別冊博物館研究 ICOM京都大会2019記念特集号	6. 最初と最後の頁 46-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 Museums as a Basis of Community Development	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Museums and Community Development	6. 最初と最後の頁 7-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 Intangible Cultural Heritage and Local Communities: A Perspective on Museums	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of International Researchers Forum: Perspectives of Research for Intangible Cultural Heritage towards a Sustainable Society	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田直子	4. 巻 -
2. 論文標題 About the publication of Museums and Community Development	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Museums and Community Development	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田直子	4. 巻 -
2. 論文標題 ICOM日本・国立民族学博物館 Museums and Community Development 博物館とコミュニティ開発	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ICOM京都大会準備室編『文化をつなぐミュージアムー伝統を未来へー』第25回ICOM(国際博物館会議)京都大会2019報告書	6. 最初と最後の頁 117
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須藤健一	4. 巻 39
2. 論文標題 民族学博物館の資料収集	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 堺市博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 25-37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須藤健一	4. 巻 169
2. 論文標題 民博のポリネシア資料収集の恩人	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 28-35
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田直子	4. 巻 63
2. 論文標題 Continuous Efforts over 10 Years for Storage Re-organization at the National Museum of Ethnology, Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Studies in Conversation	6. 最初と最後の頁 234-241
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾	4. 巻 63
2. 論文標題 Continuous Efforts over 10 Years for Storage Re-organization at the National Museum of Ethnology, Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Studies in Conversation	6. 最初と最後の頁 234-241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 林勲男	4. 巻 161
2. 論文標題 「東日本大震災以降の災害研究-人類学と他分野との協働に向けて」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 民博通信	6. 最初と最後の頁 4-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部健一	4. 巻 19
2. 論文標題 「媒介者として：課題解決から価値創造へ」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ボランティア学研究	6. 最初と最後の頁 59-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 信田敏宏	4. 巻 43 (2月号)
2. 論文標題 「想像界の生物相 龍に生まれ変わる」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 信田敏宏	4. 巻 437
2. 論文標題 「国立民族学博物館の収藏品(43) オラン・アスリの彫像」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文部科学教育通信	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野林厚志	4. 巻 -
2. 論文標題 「写真アーカイブスの可能性を探る-内田勲コレクションに刻まれた台湾の風景」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 南方共筆	6. 最初と最後の頁 24-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木史郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「シベリアと周辺世界のつながり-織物技術の視点から」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジアとしてのシベリア-ロシアの中のシベリア先住民世界 (アジア遊学227)	6. 最初と最後の頁 114-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 42
2. 論文標題 「岡本太郎と民博-70年万博の遺産(レガシー)の現在(いま)」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 8-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 1
2. 論文標題 「インタビュー 日本とアフリカ 自己と他者」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 M.L.J	6. 最初と最後の頁 100-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 43
2. 論文標題 「みんばく開館40周年にあたって」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 79-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 79
2. 論文標題 「インタビュー 人類学から見た「色彩と認識」」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ART in EDUCATION 教育美術10	6. 最初と最後の頁 14-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 「南方共筆：継承される台南風土描写特別展」によせて ごあいさつ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 南方共筆	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 「文明の転換点における博物館」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国社会学学会中日社会学専門委員会2018年度年次例会「トランスネーション：東アジアの知的生産、文化コミュニケーションと融合」国際シンポジウム	6. 最初と最後の頁 17-25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 「文明の転換点におけるミュージアムの可能性」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 平成29年度全国美術館会議 第32回学芸員研修会 報告書	6. 最初と最後の頁 118-134
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須藤健一	4. 巻 146
2. 論文標題 「Satawalese Cultural Dictionary」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国立民族学博物館調査報告『Satawalese Cultural Dictionary』	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 「伝統の創成と開かれたアイデンティティ」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 文明史のなかの文化遺産 飯田卓（編）	6. 最初と最後の頁 177-205
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 162
2. 論文標題 「民博の展示のこれまでとこれから」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 7-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 158
2. 論文標題 「文明の転換点における人類学と博物館」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 民博通信	6. 最初と最後の頁 4-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 36
2. 論文標題 「大津絵と近代におけるプリミティヴィズム」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 美術フォーラム21	6. 最初と最後の頁 21-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 41 (4月号)
2. 論文標題 「開館40年、これからのみんぱく」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 2-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 34
2. 論文標題 民族芸術学の構想	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 民族藝術 ETHNO-ARTS VOL.34 2018	6. 最初と最後の頁 33-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野林厚志	4. 巻 -
2. 論文標題 「伝統と創作のはざまー台湾原住民族の「伝統智慧創作」を事例として」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 文明史のなかの文化遺産 飯田卓(編)	6. 最初と最後の頁 261-280
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 41 (4月号)
2. 論文標題 「新世紀ミュージアム カナダ歴史博物館」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 16-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 41 (9月号)
2. 論文標題 「カナダ先住民社会の変貌」「イヌイット村落再訪」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 2-3, 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 -
2. 論文標題 「カナダ建国150周年と先住民政策」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 みんぱくe-news	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 45
2. 論文標題 "History and Current Status of Indigenous People in Canada, International Symposium September 9, 2017"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Minpaku Anthoropology Newsletter 45	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 108
2. 論文標題 「一般公開国際シンポジウム「カナダ先住民の歴史と現状」」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本カナダ学会ニュースレター	6. 最初と最後の頁 4-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 -
2. 論文標題 「カナダ・イヌイット社会の歴史的变化と現状」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本カナダ学会第42回年次研究大会 プログラム・報告要旨	6. 最初と最後の頁 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木史郎	4. 巻 160
2. 論文標題 「アイヌ服飾文化研究の新展開」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 44-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木史郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「国立アイヌ民族博物館の設立」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 北方博物館交流	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 62
2. 論文標題 「社会のつながりと再分配のメリットーndeベレ社会とミュージアムから」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中京大学現代社会学部紀要 特別号	6. 最初と最後の頁 147-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須藤健一	4. 巻 41
2. 論文標題 「本館展示の新構築とその心 40年ぶりの改変をおえて」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 393 - 450
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 137
2. 論文標題 「国立民族学博物館におけるフォーラム型情報ミュージアム構想について」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 国立民族学博物館調査報告(『伝統知、記憶、情報、イメージの再収集と共有 民族誌資料を用いた協働カ タログ制作の課題と展望』)	6. 最初と最後の頁 15-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 156
2. 論文標題 「民族収蔵の北米北方先住民民族資料の高度情報化と情報発信」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 民博通信	6. 最初と最後の頁 10-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木史郎	4. 巻 40 (7月号)
2. 論文標題 「シベリアの自然と文化 資源を持続的に利用するための戦略」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木史郎	4. 巻 40 (11月号)
2. 論文標題 「国立アイヌ民族博物館の設立」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 月刊みんぱく	6. 最初と最後の頁 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 90
2. 論文標題 第53回日本アフリカ学会学術大会・フォーラム「サバンナの住まい：ブルキナファソ、カッセーナの「伝統」と変容報告」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 97-107
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 林勲男	4. 巻 41
2. 論文標題 Materializing Memories of Disasters: Individual Experiences in Conflict Concerning Disaster Remains in the Affected Regions of the Great East Japan Earthquake and Tsunami	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 337-391
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 アフリカの博物館：南アフリカの野外博物館を中心に	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『博物館展示論（放送大学教材）』	6. 最初と最後の頁 270-287
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀井哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 せびられる老女（コラム2）	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『アフリカの老人 - 老いの制度と力をめぐる民族誌』	6. 最初と最後の頁 153-158
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾、園田直子、末森薫、和高智美、幡野寛治、川越和四、多田隈卓司、佐治木悠子、小谷竜介、福田尚、河村友佳子、橋本沙知	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災の被災文化財一時保管場所の環境改善 気仙沼市旧月立中学校の事例から	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『文化財保存修復学会第37回大会於京都研究発表要旨集』	6. 最初と最後の頁 32-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田直子、日高真吾、末森薫、西澤昌樹、玉置春佳、飯島善明、和高智美、河村友佳子、橋本沙知	4. 巻 -
2. 論文標題 国立民族学博物館に新設した多機能保管庫の運用事例 大型民族資料の保管を目指して	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『文化財保存修復学会第37回大会於京都研究発表要旨集』	6. 最初と最後の頁 94-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾、園田直子、末森薫、玉置春佳、西澤昌樹、飯島善明、和高智美、河村友佳子、橋本沙知、川越和四	4. 巻 -
2. 論文標題 国立民族学博物館における大規模な殺虫処理	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『文化財保存修復学会第37回大会於京都研究発表要旨集』	6. 最初と最後の頁 96-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末森薫、園田直子、日高真吾、高鳥浩介、吉田直人、川越和四、和高智美、河村友佳子、橋本沙知	4. 巻 -
2. 論文標題 近紫外・可視光波長域を応用した博物館資料の光学調査法 カビに由来する蛍光反応の可視化を事例として	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『文化財保存修復学会第37回大会於京都研究発表要旨集』	6. 最初と最後の頁 104-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 殿山真央、関正純、園田直子、築地球太、岡山隆之	4. 巻 -
2. 論文標題 カルボキシメチルセルロースを用いたエレクトロスピンング法による紙資料の劣化抑制処理	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『文化財保存修復学会第37回大会於京都研究発表要旨集』	6. 最初と最後の頁 180-181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 門屋智恵美、岡山隆之、小瀬亮太、関正純、園田直子	4. 巻 -
2. 論文標題 劣化紙へのセルロースナノファイバー・コーティング	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『文化財保存修復学会第37回大会於京都研究発表要旨集』	6. 最初と最後の頁 184-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoko Sonoda	4. 巻 40
2. 論文標題 New Horizons for Asian Museums and Museology -International Symposium February 21- 22, 2015	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Minpaku Anthropology Newsletter	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田直子	4. 巻 -
2. 論文標題 III. 人間文化資源の保存環境研究	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『人間文化研究機構連携研究 「人間文化資源」の総合的研究成果報告書』	6. 最初と最後の頁 609-875
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okayama,T., Kadoya,C., Kose,R., Seki,M., and Sonoda,N. (poster communication)	4. 巻 -
2. 論文標題 A new technique for strengthening degraded paper; Application of cellulose nanofiber coating on a paper surface	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 IADA (International Association of Book and Paper Conservators) XIII Congress, Staatsbibliothek zu Berlin	6. 最初と最後の頁 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tonoyama,M., Seki,M., Sonoda,N., and Okayama,T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Cellulose derivative nano-fibers ;Applicability as strengthening agent for paper materials	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 IADA (International Association of Book and Paper Conservators) XIII Congress, Staatsbibliothek zu Berlin	6. 最初と最後の頁 110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田直子	4. 巻 -
2. 論文標題 絵画をかたちづくるもの 絵具の科学	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 関西大学国際文化財・文化研究センター文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 『平成26年度文化財保存修復セミナー講義録』	6. 最初と最後の頁 269-284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田直子	4. 巻 -
2. 論文標題 博物館環境データ (生物生息調査、温度・湿度モニタリング) 分析システム・スモールパッケージの開発	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『IPMフォーラム「臭化メチル全敗から10年：文化財のIPMの現在」報告書』	6. 最初と最後の頁 38-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 園田直子、日高真吾、末森薫、奥村泰之、河村友佳子、橋本沙知、和高智美	4. 巻 40(4)
2. 論文標題 『博物館におけるLED照明の現状 2015年夏 国立民族学博物館での実験データから』	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 513-545
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 131
2. 論文標題 カナダにおける先住民アートの展開について	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 齋藤玲子編『カナダ先住民芸術の歴史的展開と現代的課題 - 国立民族学博物館所蔵のイヌイットおよび北西海岸 先住民の版画コレクションをとおして』(国立民族学博物館調査報告)	6. 最初と最後の頁 23-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 132
2. 論文標題 環北太平洋沿岸地域の先住民文化に関する人類学研究の歴史と現状 - 日本人による文化人類学的研究を中心に	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 岸上伸啓編『環北太平洋地域の先住民文化』(国立民族学博物館調査報告)	6. 最初と最後の頁 7-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 -
2. 論文標題 北アメリカ北方地域の先住民文化に関する文化人類学研究の動向 - 日本人人類学者および日本の博物館による貢献	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 北海道立北方民族学博物館編『第30回北方民族文化シンポジウム 網走 - 北方民族研究30年 成果・課題・博物館の役割』	6. 最初と最後の頁 31-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 85
2. 論文標題 北アメリカの現代先住民捕鯨に関する比較研究 - アラスカのイヌピアットとカナダ・イヌイットのホッキョクジラ鯨の比較	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 人文論究	6. 最初と最後の頁 63-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kishigami, Nobuhiro	4. 巻 16
2. 論文標題 Revival of Inuit Bowhead Hunts in Arctic Canada	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Japanese Review of Cultural Anthropology	6. 最初と最後の頁 43-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 -
2. 論文標題 アラスカ・イヌピアット社会における使者祭りの変化と現状について	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 日本文化人類学会第49回研究大会発表要旨集	6. 最初と最後の頁 105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 -
2. 論文標題 北アメリカ北西海岸先住民のポトラッチ儀礼のダンス	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 国枝たか子編『世界のダンスII ~百カ国を結ぶ舞踏文化~』	6. 最初と最後の頁 80-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 -
2. 論文標題 アラスカ先住民のドラマ・ダンス	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 国枝たか子編『世界のダンスII ~百カ国を結ぶ舞踏文化~』	6. 最初と最後の頁 82-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 131
2. 論文標題 国立民族学博物館における1990年代以降の北アメリカ先住民資料の収集について - イヌイト版画と北西海岸先住民版画を中心に	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 齋藤玲子編『カナダ先住民芸術の歴史的展開と現代的課題 - 国立民族学博物館所蔵のイヌイトおよび北西海岸先住民の版画コレクションをととして』(国立民族学博物館調査報告)	6. 最初と最後の頁 17-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 -
2. 論文標題 寒い地域に生きる人々 - アラスカの生活	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 中学社会地理的分野 (文部科学 省検定済教科書中学校社会科用)	6. 最初と最後の頁 20-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 -
2. 論文標題 グリーンランドとアイスランドの捕鯨	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 小澤実・中丸禎子・高橋美野梨編『アイスランド・グリーンランド・北極を知るための65章』	6. 最初と最後の頁 233-238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 -
2. 論文標題 アイスランドとグリーンランドの現代芸術 - 音楽・映画・文学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 小澤実・中丸禎子・高橋美野梨編『アイスランド・グリーンランド・北極を知るための65章』	6. 最初と最後の頁 249-253
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓・山田祥子	4. 巻 -
2. 論文標題 日本におけるグリーンランド展示 - 北海道立北方民族博物館と国立民族学博物館	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 小澤実・中丸禎子・高橋美野梨編『アイスランド・グリーンランド・北極を知るための65章』	6. 最初と最後の頁 375-379
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸上伸啓	4. 巻 -
2. 論文標題 息子に「おばあちゃん」(カナダ、イヌイット)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 岩波書店辞典編集部編『世界の名前』(岩波新書)	6. 最初と最後の頁 142-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 林勲男	4. 巻 -
2. 論文標題 集落移転と土地権 - 1998年アイタベ津波災害被災地の課題	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 林勲男編『アジア太平洋諸国の災害復興 - 人道支援・集落移転・防災と文化』	6. 最初と最後の頁 84-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 林勲男	4. 巻 -
2. 論文標題 災害にかかわる在来の知と文化	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 林勲男・橋本裕之編『災害文化の継承と創造』	6. 最初と最後の頁 14-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾	4. 巻 -
2. 論文標題 生活の記憶を取り戻す - 文化財レスキューの現場から	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 木部暢子編『災害に学ぶ - 文化資源保全と再生』	6. 最初と最後の頁 175-199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾	4. 巻 40(1)
2. 論文標題 大規模災害における文化財レスキュー事業に関する一考察 - 東日本大震災の活動から振り返る	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『国立民族学博物館研究報告』	6. 最初と最後の頁 1-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾、中村信也、米村祥央、加藤和歳、田井東浩平、間淵創、内田俊秀	4. 巻 -
2. 論文標題 中越地震から10年 - 公開シンポジウム「災害と文化財レスキュー」に参加して	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『文化財保存修復学会第37階大会研究発表要旨集』	6. 最初と最後の頁 1336-1337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾、吉本忍、佐々木史郎、右代啓視、石川朗、和高智美	4. 巻 -
2. 論文標題 北斗遺跡出土の織物・繊維遺物に関する一考察	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『日本文化財科学会』	6. 最初と最後の頁 160-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾	4. 巻 152
2. 論文標題 東日本大震災で被災した民俗文化財の脱塩処理に関する一考察	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『民具研究』	6. 最初と最後の頁 99-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾	4. 巻 -
2. 論文標題 IPM実現のための予算獲得について 国立民族学博物館の事例から	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『臭化メチル全廃から10年：文化財のIPMの現在』	6. 最初と最後の頁 48-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾	4. 巻 -
2. 論文標題 文化財等レスキュー事業の意義を考える - 被災文化財から文化財へ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 橋本裕之・林勲男編『災害文化の継承と創造』	6. 最初と最後の頁 238-250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日高真吾	4. 巻 59
2. 論文標題 民博の資料管理技術をエジプトで活用する	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『文化財保存修復学会誌』	6. 最初と最後の頁 48-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 須藤健一	4. 巻 -
2. 論文標題 情報と地位の贈与・交換論 大工集団の贈答の分析	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 伊藤幹治・栗田靖之編『日本人の贈答』(ミネルヴァ・アーカイブズ)	6. 最初と最後の頁 203-233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 -
2. 論文標題 人類学の視点から見る仮面 仮面という装置が明かす人類の普遍性	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 神戸女子 大学古典芸能研究センター編『能面を科学する 世界の仮面と演劇』	6. 最初と最後の頁 151-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田憲司	4. 巻 27(4)
2. 論文標題 人類学からみた『イメージ人類学』	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『言語文化研究』	6. 最初と最後の頁 11-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木史郎	4. 巻 -
2. 論文標題 北東アジアの中のアイヌ	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 夷西列像展実行委員会編『夷西列像』	6. 最初と最後の頁 122-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiro Sasaki	4. 巻 135
2. 論文標題	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 :	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shiro Sasaki	4. 巻 135
2. 論文標題	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 :	6. 最初と最後の頁 21-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木史郎	4. 巻 4
2. 論文標題 序論 ポスト社会主義以後という状況と人類学的視座	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 佐々木史郎・渡邊日編 『ポスト社会主義以後のスラヴ・ユーラシア世界 比較民族誌的研究』(国立民族学博物館論集)	6. 最初と最後の頁 9-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木史郎	4. 巻 4
2. 論文標題 金と自然に生きる村ウリカ・ナツィオナーリノエ ポスト社会主義以後の時代の極東ロシアの先住民族社会	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 佐々木史郎・渡邊日日編 『ポスト社会主義以後のスラヴ・ユーラシア世界 比較民族誌的研究』（国立民族学博物館論集）	6. 最初と最後の頁 211-243
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木史郎	4. 巻 4
2. 論文標題 あとがき	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 佐々木史郎・渡邊日日編 『ポスト社会主義以後のスラヴ・ユーラシア世界 比較民族誌的研究』（国立民族学博物館論集）	6. 最初と最後の頁 267-274
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計104件（うち招待講演 43件 / うち国際学会 23件）

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 環北太平洋地域における先住民文化の比較研究に関する 考察：歴史、現状、未来
3. 学会等名 日本シベリア学会第5回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木史郎
2. 発表標題 The Ainu as indigenous people and a national museum
3. 学会等名 第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会2019ICOM京都（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 パネルディスカッション
3. 学会等名 国際博物館の日 記念シンポジウム「文化をつなぐミュージアム－伝統を未来へ－」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 文明の転換点におけるミュージアム－みんなのこれまでとこれから
3. 学会等名 第500回みんなぱくゼミナール
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 無形文化遺産と地域コミュニティ
3. 学会等名 国際研究者フォーラム「無形文化遺産研究の展望－継続可能な社会にむけて」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 日本美術はいかに語られてきたか？ - 欧米の美術館・博物館の中の日本 -
3. 学会等名 国際シンポジウム 展示室で語る「日本美術」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 人類学と博物館－これまでとこれから
3. 学会等名 人類学研究所設立70周年記念事業 公開シンポジウム 「人類学と博物館－民族誌資料をどう研究するのか？」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 ICOM京都大会を振り返る－成果と課題－
3. 学会等名 ICOM(国際博物館会議)京都大会2019記念シンポジウム「日本のミュージアムの未来」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 Ethnographic Museums at the Turn of Civilization
3. 学会等名 ICOM ICME 52nd ANNUAL CONFERENCE Diversity and Universality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 Museums as a Basis of Community Development
3. 学会等名 第25回ICOM(国際博物館会議)京都大会2019ICOM京都 みんなくJICAセッション Museums and Community Development (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿部健一
2. 発表標題 演劇ワークショップでアジアの農村をつなぐ：高校生を対象とした交流事業
3. 学会等名 国際ボランティア学会第21回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 林勲男
2. 発表標題 Introduction to the session 'Disaster Remains and Passing-on of Memories'
3. 学会等名 2020 International Forum on Telling Live Lessons from Disasters (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 服飾織物重製和博物館
3. 学会等名 消失與重視--博物館織物重製研討會(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 園田直子
2. 発表標題 Risk mitigation and risk prevention for storage - With special reference to National Museum of Ethnology, Osaka
3. 学会等名 Seminar on Conservation and Storage management for Paintings and Fabric Artefacts for Museum Professionals in the ASEAN Countries (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 「環太平洋沿岸地域の先住民文化に関する人類学的研究の歴史と現状」
3. 学会等名 日本言語学会・学会設立大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 「進歩したデジタル化技術を通じた文化的概念と実践の共有：多様な利用者のための多機能アーカイブズとインターフェースに向けて (Erich Kasten)へのコメント」
3. 学会等名 第33回北方民族文化シンポジウム網走「環北太平洋地域の伝統と文化 (3)カムチャッカ半島・千島列島」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 Inupiat Dance and Embodied memories
3. 学会等名 The Twenty-Third "Science in Japan" JSPS Forum: Memory and the Museum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 園田直子
2. 発表標題 Continuous Efforts over 10 Years for Storage Re-organization at the National Museum of Ethnology
3. 学会等名 IIC'S 27th Biennial Congress Preventive Conservation: The State of the Art (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 林勲男
2. 発表標題 Remembrance and Recording of the Great East Japan Earthquake Disaster
3. 学会等名 The Twenty-Third "Science in Japan" JSPS Forum: Memory and the Museum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 林勲男
2. 発表標題 Rev. George Brown and His Collection
3. 学会等名 Museum Talk (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 林勲男
2. 発表標題 「災害記録の発展的継承を考える」
3. 学会等名 東日本大震災災害アーカイブシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 亀井哲也
2. 発表標題 Introduction of Chukyo University Sports Museum
3. 学会等名 The 13th Olympic Museum Network General Assembly Gothenburg Sports Museum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 亀井哲也
2. 発表標題 「ンデベレの壁絵描画運動の調査研究と博物館における活動支援」
3. 学会等名 文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム「文化遺産国際協力のかたち-世界遺産を未来に伝える日本の貢献-」併設パネル展
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 Evoking the memory and creating a new lineage in the museum: handicraft of Taiwan indigenous peoples
3. 学会等名 The Twenty-Third "Science in Japan" JSPS Forum: Memory and the Museum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐々木史郎
2. 発表標題 Construction of a national museum for revitalization of the Ainu culture
3. 学会等名 12th Conference on Hunting and Gathering Societies (CHAGS12) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 The Museum, A place of Transmitting and Creating 'Memory'
3. 学会等名 The Twenty-Third "Science in Japan" JSPS Forum: Memory and the Museum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 文明の転換点における博物館
3. 学会等名 中国社会学学会2018年年会 (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 美術館の過去(これまで)、現在(いま)、未来(これから)-ミュージアムの可能性を考える
3. 学会等名 福岡ミュージアム連絡会議(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 文明の転換点における博物館
3. 学会等名 岡山県博物館協議会総会 平成30年度総会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 フォーラムとしてのミュージアム、フォーラムとしての学術研究
3. 学会等名 総研大文化フォーラム2018(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 仮面舞踏が明かす森のイメージ ザンビアチェワの仮面結社ニャウの活動から
3. 学会等名 丹波の森協会「丹波の森大学」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 民博の新しい本館展示ができるまで-調査、収集、そして展示作業の記録-
3. 学会等名 神戸市シルバーカレッジ(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 民族の祭りと博物館の創成競争
3. 学会等名 JICA 第55回国際協力塾 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 アートと人類学「イメージの力」展から
3. 学会等名 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 アートプロデュース特論 ゲスト講義 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 アート(美術)とアーティファクト(器物)-美術館と博物館のあいだ
3. 学会等名 第8回研究会シンポジウム「文化資源と<もの>がたり」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 国立民族学博物館の展示-新しい民博の本館展示ができるまで-
3. 学会等名 日本展示学会 展示論講座(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 ミュージアムの未来 人類学的パースペクティブ
3. 学会等名 ナレッジキャピタル超学校(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 Creating Festivals, Constructing Museums: Ongoing Cultural Movements in Eastern Zambia
3. 学会等名 Museum Cooperation Colloquium 2018 Anthoropology, Archaeology and the Museum, Lusaka National Museum, Zambia(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 園田直子
2. 発表標題 Challenges and reflections for sustainable climate control at the National Museum of Ethnology, Japan
3. 学会等名 ICOM-CC(国際博物館会議・保存委員会)第18回大会(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 日高真吾
2. 発表標題 Challenges and reflections for sustainable climate control at the National Museum of Ethnology, Japan
3. 学会等名 ICOM-CC(国際博物館会議・保存委員会)第18回大会(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 須藤健一
2. 発表標題 無形文化遺産と文化復興—今に生きる知と技
3. 学会等名 堺市トップセミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 須藤健一
2. 発表標題 博物館と人類学
3. 学会等名 中国復旦大学(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 須藤健一
2. 発表標題 海洋人類学
3. 学会等名 中国浙江大学舟山海洋学院（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 須藤健一
2. 発表標題 世界の文化をつなぐ博物館
3. 学会等名 桃山学院
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 須藤健一
2. 発表標題 21世紀の博物館と堺
3. 学会等名 堺市博物館連続公開講義
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 文明の転換点におけるミュージアムの可能性
3. 学会等名 第32回学芸員研修会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 パネルディスカッション
3. 学会等名 国際博物館の日記念シンポジウム「ICOM京都大会にむけて」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 博物館とエスニック集団ー国立民族学博物館の経験より
3. 学会等名 2017年国際シンポジウム「博物館と客家研究」会議(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 カナダ先住民と建国150年ー北西海岸先住民を事例に
3. 学会等名 第471回国立民族学博物館友の会講演会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 カナダ先住民の文化のカーイヌイト・アートを中心に
3. 学会等名 民族藝術学会第149回研究例会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 多文化主義の国カナダにおける先住民文化
3. 学会等名 第472回みんなくゼミナール
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 カナダ・イヌイット社会の歴史的变化と現状
3. 学会等名 一般公開国際シンポジウム「カナダ先住民の歴史と現状」日本カナダ学会第42回年次研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 林勲男
2. 発表標題 南太平洋の文化遺産－宣教師ブラウンとそのコレクション
3. 学会等名 カレッジシアター
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 林勲男
2. 発表標題 マランガン儀礼と彫刻－ジョージ・ブラウン・コレクションから
3. 学会等名 みんなくウィークエンドサロン
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 林勲男
2. 発表標題 ジョージ・ブラウン・コレクションの軌跡をたどる
3. 学会等名 第473回みんなくゼミナール
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 林勲男
2. 発表標題 東日本大震災と郷土芸能
3. 学会等名 全日本郷土芸能協会主催「災害と芸能の国際フォーラム」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部健一
2. 発表標題 How to promote sustainable agriculture through policy? Lessons and Options
3. 学会等名 国際コモンズ学会2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部健一
2. 発表標題 媒介者Mediatorとしての東ティモールのコーヒー事業に関わる一課題解決から価値創造へ
3. 学会等名 国際ボランティア学会 第19回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 阿部健一
2. 発表標題 世界農業遺産とその活かし方：地域の未来をみんなで考える
3. 学会等名 世界農業遺産・日本農業遺産認定に向けた市民セミナー 氷見らしさを未来に活かす世界農業遺産について
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 阿部健一
2. 発表標題 都市をささえる景観：瀬戸内海国立公園から学ぶ
3. 学会等名 平成29年度 瀬戸内海研究フォーラム「川と海のつながりが育む豊かな文化と生態系」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部健一
2. 発表標題 KLaSiCa 社会変革のための学習・教育
3. 学会等名 日本学術会議公開シンポジウム「地球環境変化研究の転換期における人間的側面研究の強化と推進に向けて」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部健一
2. 発表標題 世界農業遺産について
3. 学会等名 諸塚村公民館大会・生涯学習推進大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部健一
2. 発表標題 文化人類学からみる東ティモール~これまでのこと、これからのこと~
3. 学会等名 東ティモールフェスタ2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部健一
2. 発表標題 東ティモールからの声
3. 学会等名 第3回大野の水と未来を語る集い「東ティモールからの声」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部健一
2. 発表標題 地球環境問題とは何か
3. 学会等名 三重県立松坂高校地球研訪問プログラム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 日高真吾
2. 発表標題 Common challenges for ethnographic and modern art collections: Pest control for large and complex objects containing new materials
3. 学会等名 The International Institute for Conservation of Historic and Artistic Works (IIC) 2016 Los Angeles Congress Preprints (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 亀井哲也
2. 発表標題 フォーラム：サバンナの住まい：ブルキナファソ、カッセーナの「伝統」と変容
3. 学会等名 第53回日本アフリカ学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 亀井哲也
2. 発表標題 ンデベレ人（南アフリカ）の壁絵文化について
3. 学会等名 民族藝術学会第143回例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 林勲男
2. 発表標題 災害文化と無形文化遺産の継承
3. 学会等名 アジア太平洋無形文化遺産研究センター（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 園田直子
2. 発表標題 特別講演：美術館・博物館の裏側
3. 学会等名 日本ジョンソン協会第48回大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 園田直子
2. 発表標題 国立民族学博物館と滋賀県立琵琶湖博物館のJICA博物館学コース コース概要とコースに参加した東・中央アジアの博物館事情
3. 学会等名 文化遺産国際協力コンソーシアム 東・中央アジア分科会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 園田直子
2. 発表標題 博物館環境データ（生物生息調査、温度・湿度モニタリング）分析システム・スモールパッケージの開発
3. 学会等名 東京文化財研究所フォーラム「臭化メチル全廃から10年：文化財のIPMの現在」
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 園田直子
2. 発表標題 絵画をかたちづくるもの：絵具の科学
3. 学会等名 平成27年度関西大学文化財保存修復セミナー「美術工芸品（絵画）」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Atsushi Nobayashi
2. 発表標題 Thinking Ethnicity through the Collections
3. 学会等名 ICME 2015 Annual Conference
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 久保正敏
2. 発表標題 デザインのアーカイブ化がもたらす可能性について
3. 学会等名 京都工芸繊維大学美術工芸資料館主催『平成27年度文化庁「アーカイブ中核拠点形成モデル事業」グラフィック分野第1回報告会 デザイン資源のいまとデザインアーカイブのこれから』
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 民博のフォーラム型情報ミュージアム構想
3. 学会等名 フォーラム型情報ミュージアムのシステム構築に向けて オンライン協働環境作りのための理念と技術的側面の検討
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nobuhiro Kishigami
2. 発表標題 The Impact of Climate Change on Aboriginal Subsistence Whaling in Northwest Alaska: Inupiat Whalers, Bowhead Whales and Oil/Gas Development
3. 学会等名 The Fourth International Symposium on the Arctic Research (ASSW 2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Nobuhiro Kishigami
2. 発表標題 Inuit in Urban Centers: A Case Study from Montreal, PQ, Canada
3. 学会等名 2015 Integrated International Conference of The Japan Studies Association of Canada (JSAC)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 アラスカ・イヌピアット社会における使者祭りの変化と現状について
3. 学会等名 日本文化人類学会第49回研究大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Nobuhiro Kishigami
2. 発表標題 A Comparative Study of Contemporary Indigenous Whale Hunts in North America
3. 学会等名 CHAGS 11
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岸上伸啓
2. 発表標題 北アメリカの北太平洋沿岸地域と極北・亜極北地域の先住民文化に関する文化人類学研究の動向：日本人人類学者および日本の博物館・大学による貢献
3. 学会等名 第30回北方民族文化シンポジウム網走（第30回記念大会北方民族研究30年 - 成果・課題・博物館の役割）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 日高真吾
2. 発表標題 東日本大震災における文化財レスキュー
3. 学会等名 災難及び産業安全に関する東アジア安全共同体摸索
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 日高真吾
2. 発表標題 IPM実現のための予算獲得について - 国立民族学博物館の事例から
3. 学会等名 臭化メチル全廃から10年：文化財のIPMの現在
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 日高真吾
2. 発表標題 如何展示 日本の民俗生活：国立民族学博物館の實踐
3. 学会等名 生活的展示 生活物件與生活方式
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 日高真吾
2. 発表標題 国立民族学博物館の資料管理活動について
3. 学会等名 文化財等防災ネットワーク研修
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 日高真吾
2. 発表標題 文化財等レスキュー 後の支援活動について：国立民族学博物館の活動を中心に
3. 学会等名 文化財等防災ネットワーク研修
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 日高真吾
2. 発表標題 文化財等レスキュー事業について：国立民族学博物館の活動を中心に
3. 学会等名 文化財等防災ネットワーク研修
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 日高真吾・橋本沙知
2. 発表標題 アンデス文明形成期の金属製品の製作に関する一考察 - 蛍光X線分析の結果から
3. 学会等名 アンデス文明初期の神殿と権力生成
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 日高真吾
2. 発表標題 一時保管場所の現状 - 気仙沼市旧月立中学校の事例
3. 学会等名 文化財防災ネットワーク推進事業・文化財保存修復学会例会 『大規模災害時における被災資料の一時保管施設について考える』
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 日高真吾
2. 発表標題 民具の保存処理と災害時における応急措置について
3. 学会等名 第66回日本木材学会 企画講演
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kenichi Sudo
2. 発表標題 Cultural Anthropology Research and Museology at the National Museum of Ethnology, Japan
3. 学会等名 The First Global Creative Industries Conference, School of Modern Language and Cultures, Faculty of Arts, The University of Hong Kong (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kenichi Sudo
2. 発表標題 The Museum Activities in Recovery From Disaster: National Museum of Ethnology, Japan
3. 学会等名 第6回東北アジア民族文化フォーラム『無形文化遺産の保護、民族文化の変化と異文化交流』(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 須藤健一
2. 発表標題 21世紀の民族学博物館と博情館 文化資源研究の新展開
3. 学会等名 国際学術ワークショップ『民族學與&歴史學的交會(民族学と歴史学の交錯)』(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 須藤健一
2. 発表標題 文化資源に関するForum型情報博物館の構築 民博の研究展開
3. 学会等名 浙江大学『東方論壇』第178回講演会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 須藤健一
2. 発表標題 博物館の多面的活動のすすめ 民博ミッション
3. 学会等名 堺市博物館活性化戦略会議
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 須藤健一
2. 発表標題 柳田國男と民族学
3. 学会等名 第36回 山桃忌記念講演
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 須藤健一
2. 発表標題 “ふれあい”と文化創生の場としての博物館
3. 学会等名 佐渡国小木民俗博物館活性化実行委員会 文化講演会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 生活文化と博物館
3. 学会等名 国立台北藝術大学博物館研究所（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 武器をアートに アフリカ・モザンビークにおける平和構築の営み
3. 学会等名 カレッジシアター「地球探究紀行」
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉田憲司
2. 発表標題 イメージの力～みんなのコレクションが語るもの
3. 学会等名 郡山市立美術館
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shiro Sasaki
2. 発表標題 The Oak Forest Culture : Examination of K Sasaki's Hypothesis
3. 学会等名 第6 回東北アジア民族文化フォーラム『無形文化遺産の保護、民族文化の変化と異文化交流』
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shiro Sasaki
2. 発表標題 A comparative study of the trap names and their distribution among the Tungus-speaking peoples
3. 学会等名 The 3rd International Conference on Tungus (Altaic) Languages and Culture
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shiro Sasaki
2. 発表標題 Limiting line of farming on the Lower Amur River basins: from historical records on the ancestors of the present indigenous hunter-gatherers
3. 学会等名 "Historical ecology of indigenous people in Amur region" Eleventh International Conference on Hunting and Gathering Societies
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐々木史郎
2. 発表標題 シベリア・極東ロシア調査の30年
3. 学会等名 第30回北方民族文化シンポジウム網走「第30回記念大会 北方民族研究30年 成果・課題・博物館の役割」
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計34件

1. 著者名 吉田憲司	4. 発行年 2020年
2. 出版社 国立民族学博物館	5. 総ページ数 188(4-5)
3. 書名 ごあいさつ 「特別展 先住民の宝」信田敏宏編	

1. 著者名 岸上伸啓	4. 発行年 2020年
2. 出版社 国立民族学博物館	5. 総ページ数 188(107-122)
3. 書名 北西海岸先住民(カナダ)「特別展 先住民の宝」信田敏宏編	

1. 著者名 岸上伸啓(編)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 国立民族学博物館	5. 総ページ数 214
3. 書名 国立民族学博物館調査報告149号 世界の捕鯨文化 現状・歴史・地域性	

1. 著者名 信田敏宏	4. 発行年 2019年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 264
3. 書名 家族の人類学—マレーシア先住民の親族研究から助け合いの人類史へ	

1. 著者名 信田敏宏(編)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 国立民族学博物館	5. 総ページ数 188
3. 書名 特別展 先住民の宝	

1. 著者名 園田直子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 中西印刷	5. 総ページ数 82
3. 書名 Museums and Community Development	

1. 著者名 須藤健一	4. 発行年 2020年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 264(105-117)
3. 書名 ヒトはなぜ海を越えたのかーオセアニア考古学の挑戦ー「ミクロネシアのカヌーづくりの伝統」秋道智彌・印東道子編	

1. 著者名 阿部健一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 277
3. 書名 『生態資源：モノ・場・ヒトを生かす世界』山田勇・赤嶺淳・平田昌弘（編）	

1. 著者名 野林厚志	4. 発行年 2018年
2. 出版社 樹村房	5. 総ページ数 254
3. 書名 『ミュージアム・コミュニケーションと教育活動』湯浅万紀子（編）	

1. 著者名 吉田憲司	4. 発行年 2018年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 313
3. 書名 『博物館概論』稲村哲也（編著）	

1. 著者名 岸上伸啓	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 384(34-39)
3. 書名 カナダの歴史を知るための50章（「カナダの先住民社会－多様な文化の展開」）細川道久編	

1. 著者名 阿部健一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 216(22-23)
3. 書名 京都を学ぶ【丹波編】（「コラム3 トチノキ今昔」）	

1. 著者名 阿部健一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教材	5. 総ページ数 332(192-208)
3. 書名 レジリエンスの諸相－人類史的視点からの挑戦－（「地球のレジリエンス」）	

1. 著者名 阿部健一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 大修館書店	5. 総ページ数 286(40-47)
3. 書名 精選現代文B 改訂版（「豊かさとながり」）	

1. 著者名 阿部健一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 音楽之友社	5. 総ページ数 47(2-3)
3. 書名 ゼツメツキグシュノオト(まえがき「生物学者はピアノが弾けない」)	

1. 著者名 Naoko Sonoda編著	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 204
3. 書名 New Horizons for Asian Museums and Museology	

1. 著者名 岸上伸啓	4. 発行年 2017年
2. 出版社 札幌：風土デザイン研究所	5. 総ページ数 100
3. 書名 文化人類学～人類を探求し、新たな人間観を創出する学問～	

1. 著者名 信田敏宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 336
3. 書名 東南アジア地域研究入門2 社会 「6章 人」	

1. 著者名 亀井哲也	4. 発行年 2016年
2. 出版社 九州大学出版会	5. 総ページ数 246(153-158)
3. 書名 アフリカの老人 老いの制度と力をめぐる民族誌 「せびられる老女(コラム2)」	

1. 著者名 亀井哲也	4. 発行年 2016年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 313(270-287)
3. 書名 新訂 博物館展示論(放送大学教材) 「アフリカの博物館:南アフリカの野外博物館を中心に」	

1. 著者名 亀井哲也	4. 発行年 2016年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 1039(461,528,655,898)
3. 書名 世界神話伝説大事典 「アマドージ」、「ウンクルンクル」、「シャカ」、「ムシ」	

1. 著者名 亀井哲也	4. 発行年 2016年
2. 出版社 エイデル研究所	5. 総ページ数 251(61-90)
3. 書名 知の饗宴としてのオリンピック 「オリンピックとミュージアム」	

1. 著者名 野林厚志	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 204(89-96)
3. 書名 New Horizons for Asian Museums and Museology 'Rewiring Museum Information: Mobile and Cloud'	

1. 著者名 吉田憲司	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 204(187-200)
3. 書名 New Horizons for Asian Museums and Museology 'Museums and Community Development: With Special Reference to Zambian Cases'	

1. 著者名 岸上伸啓	4. 発行年 2016年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 360(236-420, 241-245)
3. 書名 アメリカの先住民を知るための62章(「トーテムポール 北西海岸先住民文化の象徴」, 「ポトラッチ/ギヴ・アウェイ 寛容さの具現化」)	

1. 著者名 久保正敏(編)	4. 発行年 2015年
2. 出版社 人間文化研究機構	5. 総ページ数 876
3. 書名 人間文化研究機構 連携研究 「人間文化資源」の総合的研究 成果報告書	

1. 著者名 阿部健一	4. 発行年 2015年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 215
3. 書名 五感/五環 文化が生まれるとき(地球研叢書)	

1. 著者名 岸上伸啓(編)	4. 発行年 2015年
2. 出版社 国立民族学博物館	5. 総ページ数 269
3. 書名 環北太平洋地域の先住民文化(国立民族学博物館調査報告132)	

1. 著者名 林勲男(編)	4. 発行年 2015年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 222
3. 書名 アジア太平洋諸国の災害復興・人道支援・集落移転・防災と文化	

1. 著者名 林勲男・橋本裕之(編)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 322
3. 書名 災害文化の継承と創造	

1. 著者名 吉田憲司	4. 発行年 2016年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 249
3. 書名 仮面の世界をさぐる アフリカとミュージアムの往還	

1. 著者名 吉田憲司(編)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中西印刷	5. 総ページ数 71(オリジナル)
3. 書名 武器をアートに モザンビークにおける平和構築(増補版)	

1. 著者名 Shaglanova Olga A. and Shiro Sasaki (eds.)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 National Museum of Ethnology, Japan	5. 総ページ数 160
3. 書名 : (Senri Ethnological Reports 135)	

1. 著者名 佐々木史郎・渡邊日日編	4. 発行年 2016年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 288
3. 書名 ポスト社会主義以後のスラヴ・ユーラシア世界 比較民族誌的研究(国立民族学博物館論集4)	

(産業財産権)

〔その他〕

フォーラム型情報ミュージアムのデータベース構築：北米北方先住民関連文化資源データベース
<http://ifm.minpaku.ac.jp/canada/>

阿部健一 映像作品「感謝すること」14分40秒

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	吉田 憲司 (Yoshida Kenji) (10192808)	国立民族学博物館・大学共同利用機関等の部局等・館長 (64401)	
研究分担者	野林 厚志 (Nobayashi Atsushi) (10290925)	国立民族学博物館・学術資源研究開発センター・教授 (64401)	
研究分担者	久保 正敏 (Kubo Masatoshi) (20026355)	国立民族学博物館・その他部局等・名誉教授 (64401)	
研究分担者	園田 直子 (Sonoda Naoko) (50236155)	国立民族学博物館・人類基礎理論研究部・教授 (64401)	
研究分担者	岸上 伸啓 (Kishigami Nobuhiro) (60214772)	国立民族学博物館・学術資源研究開発センター・教授 (64401)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	亀井 哲也 (Kamei Tetsuya) (60468238)	中京大学・現代社会学部・教授 (33908)	
研究分担者	佐々木 史郎 (Sasaki Shiro) (70178648)	独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館・国立アイヌ民族博物館・館長 (82619)	
研究分担者	阿部 健一 (Abe Kenichi) (80222644)	総合地球環境学研究所・研究基盤国際センター・教授 (64303)	
研究分担者	林 勲男 (Hayashi Isao) (80270495)	国立民族学博物館・超域フィールド科学研究部・教授 (64401)	